

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

小学生にもわかる

「市議会ガイドブック」完成しました!



活動発表するこどもモニターたち



松戸市議会ガイドブック
QRコード



https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/guidebook.html

松戸市議会では、子どもたちに議会の役割や仕組みを身近に感じてもらい、市政への関心を育むことを目的に「松戸市議会ガイドブック」を作成しました。

制作に当たっては、小中学生による「こどもモニター」と市議会広報委員会の議員がグループワークを行い「親しみやすく、わかりやすい」内容を目指して意見を重ねました。子どもたちの自由で柔軟な発想や感性は大変素晴らしく、多くの気づきを与えてくれました。

完成したガイドブックは、イラストやクイズを取り入れて、楽しみながら学べる内容となっています。本ガイドブックは、テラスモール松戸にて行われた「松戸市子ども夢フォーラム」にて公開されました。今後、子どもたちをはじめ、市民の皆さまにとって、市議会をより身近に感じるきっかけとなることを期待しています。

市議会トピックス

●令和7年度松戸市一般会計補正予算(第12～14回)を可決

補正額	第12回	26億6,201万1千円
	第13回	18億8,210万6千円
	第14回	1億9,492万4千円

●令和8年度松戸市一般会計予算を可決

予算額 1,945億1千万円

※詳細は3面に掲載しています。

人事案件

農業委員会委員の任命および固定資産評価員の選任に同意しました。(敬称略)

●農業委員会委員 (14人)

わたなべ	なべ	よし	ひろ	わた	なべ	よう	こ
渡	邊	慶	弘	渡	邊	洋	子
すぎ	うら	ゆう	じ	ゆ	あ	こう	い
杉	浦	勇	のり	あ	さ	と	かつ
と	ばり	よし	宣	い	だ	敏	克
戸	張	嘉	はる	相	田	まさ	とし
わた	ら	かず	治	ひ	川	正	俊
渡	来	和	と	ら	だ	こう	じ
たけ	むら		お	あ	田	ひろ	二
竹	村	しょう	ん	お	か	博	ひさ
すぎ	うら	昌	ん	ん	み	万	久
杉	浦		ん	ん	上	里	子
さい	とう		ん	ん	とう		
齊	藤		ん	ん	藤		

●固定資産評価員

か	とう	まさ	ひで
加	藤	将	秀

3月定例会

令和8年3月定例会を2月20日から3月24日まで開催しました。

今定例会では、市長・教育長の施政方針等に対する各会派の代表質問を行いました。

また市長から提出された専決処分2件の報告を承認し、農業委員会委員の任命議案14件に同意しました。

さらに7年度補正予算11件を可決しました。

このほか市長から提出された8年度予算に関する議案12件や、条例などの一般議案28件を、それぞれの委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに市長から提出された追加議案1件、固定資産評価員の選任議案1件、議員提出議案2件を上程し、採決しました。

(2・3面に審議結果、3面に予算審査の質疑、4面に討論を掲載)

声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会の協力を得て視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物を提供しています。

- 問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター (ふれあい22内)
TEL 047(383)7111



番号	件名	付託先委員会	本会議の結果
第110号	農業委員会委員の任命(渡邊洋子氏)	—	同意
第111号	農業委員会委員の任命(杉浦勇司氏)	—	同意
第112号	農業委員会委員の任命(湯浅孝一氏)	—	同意
第113号	農業委員会委員の任命(戸張嘉宣氏)	—	同意
第114号	農業委員会委員の任命(相田敏克氏)	—	同意
第115号	農業委員会委員の任命(渡来和治氏)	—	同意
第116号	農業委員会委員の任命(平川正俊氏)	—	同意
第117号	農業委員会委員の任命(竹村透氏)	—	同意

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果
第118号	農業委員会委員の任命(恩田浩二氏)	—	同意
第119号	農業委員会委員の任命(杉浦昌平氏)	—	同意
第120号	農業委員会委員の任命(川上博久氏)	—	同意
第121号	農業委員会委員の任命(齊藤隆氏)	—	同意
第122号	農業委員会委員の任命(加藤万里子氏)	—	同意
第124号	令和7年度松戸市一般会計補正予算(第14回)	総務財務	可決
第125号	固定資産評価員の選任(加藤将秀氏)	—	同意

■議員提出議案

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
第19号	子ども・子育て支援金制度の財源見直しを求める意見書	—	否決	多数意見

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
第20号	アメリカとイスラエルによるイランへの攻撃の即時中止をすることを求める意見書	—	否決	多数意見

令和8年度当初予算

会計名	予算額
総務費	164億8,773万1千円
民生費	1,012億8,665万7千円
衛生費	154億9,463万1千円
労働・農林水産業費	4億9,057万円
商工費	9億2,703万8千円
土木費	156億1,319万6千円
消防費	72億7,394万9千円
教育費	197億8,574万4千円
その他	172億2,765万4千円
計	1,945億1,000万円
国民健康保険	423億8,314万円
松戸競輪	457億9,173万9千円
公設地方卸売市場事業	1億5,349万9千円
駐車場事業	2億6,002万2千円
介護保険	453億3,917万8千円
後期高齢者医療	93億3,293万4千円
新松戸駅東側地区土地区画整理事業	9億3,112万8千円
相模台地区土地区画整理事業	6,554万8千円
計	1,441億1,975万8千円
水道事業	27億1,832万4千円
病院事業	286億9,734万8千円
下水道事業	196億2,945万8千円
計	510億4,513万円
合計	3,896億7,488万8千円

予算規模は、前年度比 1,153億7,930万円 3.1%増

予算審査特別委員会の審査から

令和8年度予算(12会計)を可決

予算審査のあらまし

- 2/20 市長が12会計の予算議案を提出
- 3/4 予算審査特別委員会を設置
- 3/13 予算審査特別委員会で審査
- 3/16 委員会審査では、12会計について可決すべきものと決定
- 3/18
- 3/19
- 3/24 審査結果を報告・質疑・討論・採決 12会計を可決

予算審査特別委員会委員

委員長	伊東英一
副委員長	大和山太郎
	石塚裕
	鈴木智明
	西田善昭
	原鈴木大史
	宇津野公行
	飯箸山由
	杉山明祥

民生費

問 ブックスタート関係経費の事業内容と絵本の選定方法は。

答 保健師等による乳児家庭全戸訪問の際に、絵本1冊を含むブックスタートパックを届ける事業である。選定方法は、NPO法人ブックスタートが3年ごとに30タイトルを選定し、司書資格を有する本市図書館職員による絵本選定会議を開催し、赤ちゃんと保護者に親しみやすく興味を持っていただけの絵本を4冊選定している。

問 妊婦のための支援給付交付金事業の実績を伺う。

答 令和7年11月末時点で妊娠届出書を提出した妊婦1822人に対し、9110万円を給付している。出産した1230人に対し、6230万円を給付し、合計1億5340万円を給付している。

総務費

問 広報まつど仮庁舎特集号関係経費について事業の詳細を伺う。

答 令和9年3月末までに仮庁舎への移転完了を目指しているが、どの施設にどの部署が配置されるのか等、市民への混乱が生じないように周知は不可欠である。そのため仮庁舎の部署配置やレイアウト、開庁日等を掲載した広報まつど仮庁舎特集号を作成し、周知を図っていきたくと考えている。

問 市長タウンミーティング関係事業について、令和8年度はタウンミーティングをどのようにより良くしていく予定なのか伺う。

答 市役所で開催することが多かったため、各支所や地域で話を聞き、中学生等を含め、さまざまな方との意見交換の場をつくっていきたくと考えている。

教育費

問 フリースクール等利用児童生徒支援補助金事業の概要と実績について伺う。

答 令和7年4月より、不登校児童生徒の通いの場等の確保を目的とし、フリースクール等の利用に要する月額利用料金の一部について上限を1万円として、不登校児童生徒の保護者に支給する事業である。8年2月末現在、43人から申請があり、これまでの補助額は、149万6700円である。

問 マイセン磁器保管業務委託費用の内容について伺う。

答 現在、年間約300万円を支出し民間の美術品専用倉庫に保管している。市立博物館も同等設備があることから、経費削減のため、博物館への移管に伴う移送委託費と保管に要する保険料である。

土木費

問 フォレストハウスづくり体験関係経費の内容を伺う。

答 専門的な知見を持つ里山ボランティアの協力を得て、森の中で親子が木材を組み立て、小さな家を作る体験会を行う。令和8年度の予算額190万円については、森林環境譲与税を活用して、体験会で使用する千葉県産の木材等を購入し、木材を加工した上で、体験会は9年度に実施する。

問 空家除却費用補助金の増額理由を伺う。

答 老朽化による倒壊の危険性が高い旧耐震空き家の早期の除却を促進することにより、周辺の生活環境の保全を図るものである。令和7年度の補助予定件数3件から、8年度は15件に拡大するため、720万円の増額となっている。

病院事業

問 市立総合医療センターシャトルバスの運営管理業務委託について、運賃の公示基準額引き上げに伴う令和8年度予算への影響は。

答 現在の運行形態のまま新しい運賃を適用する場合、7年度より700万円増額となり6900万円となる。運行形態の見直しの結果、8年度の事業費は5500万円を見込み、約1400万円の削減をするものである。今後利用者への利便性を考慮しながら、経営改善の取り組みを進めていく。

問 病床数の削減に伴う職員の削減数について伺う。

答 病床数の適正化に伴う医療従事者の削減数について、看護職員10人を見込んでおり、令和8年度予算の看護職員数623人に対する割合は、約1・6%である。

相模台地区土地区画整理事業

問 新拠点ゾーン整備基本計画におけるシンボル軸の形成について、どのように進めていくのか。

答 松戸駅から新拠点ゾーンへのシンボル軸の形成の実現には、隣接する商業事業者や施設等の協力が必要と認識している。一方で、シンボル軸の形成には、隣接する施設の更新時期等にも影響を受けるため、条件が整うまで整備を進めないということではなく、短期的に取り組む事項と中長期的に実現を図る事項を整理しながら、段階的に進めていくことが重要と認識している。なお新拠点ゾーンを整備することにより、周辺エリアの更新の機運も高まると考えており、その流れを松戸駅東口の市街地の更新にもつなげていきたい。

予算討論



令和8年度予算案について、9人の議員が定例会最終日に討論を行いました。ここでは、会派の討論を掲載します。割り当てられた討論時間に応じた紙面配分で掲載しています。

公明党

令和8年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

新年度予算は生活者の目線に立ち、子育て支援の充実、高齢者・障害者福祉の推進、防災・減災対策の強化等、市民の命と暮らしを守る施策に重点を置いた編成となっている点を高く評価する。

子育て支援について、幼稚園・保育所・小学校連携関係事業の「わくわく！小学校体験ルーム」は入学前の子どもの不安を和らげ、小学校接続の課題に向き合う事業である。ほぼ予算を使わず、小1プロブレムや不登校対策の一助になると考える。未就学児童にとって小学校入学は大きなチャレンジである。学校・教室の環境整備の充実、衛生的なトイレ改修等、未就学児に配慮した施設整備を要望する。また通路等に子どもがわくわくするようなかわい装飾等もお願いする。

福祉施策については、高齢化が進む中、地域で安心して暮らし続けられる体制構築が喫緊の課題である。特に支援を必要とする方へ行政側から働きかけるアウトリーチ型支援の推進は、制度のはざまにある方々を支える重要な取り組みである。認知症や精神疾患等で悩みを抱える家庭も増えており「助けてと言えない人」を救う体制整備の拡充が求められる。他市

の取り組みを踏まえ、ひきこもりの人が社会参加できるよう重層的支援体制整備の拡充への尽力をお願いする。

松戸駅周辺地域活性化については、市役所庁舎の現地建て替えの方針が示され、JR松戸駅ビルの開業が間近に迫る等、松戸駅周辺環境が大きく変貌しようとする中、駅周辺のまちづくりの全体像について、市民や市議会と情報共有や議論を深める必要があると考える。市役所庁舎の移転に関して、駅周辺に各部署が分散することから、各地域活性化のため地域の声を大切に連携を深めることを要望する。

引越等に関わる文書管理、整理はデジタル化を進める必要があるが、急激に進めると思わぬ禍根を残す恐れがある。短期的な効果や効率化を追求するあまり、誤廃棄や将来の対応に影響を及ぼさないよう検討すべきと考える。責任者を明確にし、事故がなく市民生活に影響を与えないよう進めることを要望する。

清風まじど

令和8年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

新年度予算は、厳しい状況の中で単なる削減にとどまらず、予算の仕組みそのものを見直した点は、大いに評価する。総務費では、公共施設再編整備業務について、更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行い、将来的な財政負担の縮減および平準化を見据え施設総量の適正化や適正配置を進めていくことを要望する。

民生費では、子育て支援や福祉政策の充実が図られており、切れ目のない支援体制は本市の強みである。それを支える人材確保や現場の負担軽減策についてもより一層の取り組みを求める。

労働費では、若者の就労支援や相談体制の強化が図られており、これらは地域経済活性化と人材定着に資する重要施策である。特に若者就労支援業務「まつどキャリアサポートデスク」の拡充において、対象者に「松戸市で就職を目指す人」を加えた点は、評価する。支援が単発的

にとどまらず、成果指標の明確化とフォローアップ体制を強化するよう要望する。商工費では、観光促進事業の観光協会について、経験豊富な新事務局長の登用により、結果を求めていく姿勢が伝わる。早速キテミテマツドで毎月開催されている「いいね！まつど。」でも、手腕を発揮されており、期待する。

土木費では、松戸駅周辺エリアプラットフォーム構築支援委託料について、実現できれば本市のまちづくりが飛躍的に進んでいくものと感じる。課題は多いと思うが、着実に進めることを要望する。

土地区画整理事業について、常磐線快速列車新松戸駅停車事業に関係する機関と協議するための資料作成等の委託が計上されなかった。本市の財政状況から現時点での実施は厳しいことは理解しているが、周辺地域の活性化等に資する重要な事業であるため、引き続き検討をお願いする。また現在、土地区画整理事業により進めている新松戸駅東側のまちづくりに関して、東口改札の必要性について関係機関と協議するよう併せて要望する。

どの事業もやめるのは簡単だが、ただやめるだけではなく、しっかりと成長戦略を描いていただくよう強く要望する。

松戸市政会

令和8年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

新年度予算は、市長就任後初めて編成を主導した予算案であり、市長の価値観や今後の取り組みの方向性が示されたものと捉え、予算審査に臨んだ。

一般会計の総務費では、令和8年7月から窓口開庁時間短縮に伴う広報支援業務について、来庁者数の減少を図り、事務手続きに要する時間の短縮などの業務効率化は、市職員の離職防止や政策立案機能の強化などに資する必要な取り組みと認識している。一方、移行期間において市民の混乱を招かないよう十分な周知徹底を図るとともに、一連の制度変更には各種証明書のコンビニ交付の推進が不

可欠のため、積極的な周知をお願いする。

農林水産業費では「まつどの梨」PR動画作成の予算が計上された。販売促進や学校教材としての活用が予定されている。またPR用として再編集が可能な素材を受け取る予定であることから、併せてショート動画やSNSを活用した効果的な情報発信をお願いする。

土木費では、新拠点ゾーン整備基本計画の見直しに当たり、これまでの整備に關連する投資の効果が早期に発現するよう努める旨の答弁があった。今後も新拠点ゾーンの用地取得に協力していただきたい権者や国との信頼関係の維持に留意し「未来への投資に資する事業」として、着実に推進することを強く要望する。

歳入では、使用料や手数料などについて「受益者負担の適正化方針」を策定していることが示された。また本予算審査においては、9年度当初予算の編成に反映できる時期に示すとの答弁があった。今後もし創意工夫のもと、市民のために適正な財政運営に努めるようお願いする。

政策実現フォーラム・市民

令和8年度松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業、相模台地区土地区画整理事業特別会計に反対し、一般会計、公設地方卸売市場事業、駐車場事業特別会計および各企業会計に賛成する。

相模台地区土地区画整理事業では、区域内の維持管理費約1千万円と人件費約5200万円が計上されている。新拠点ゾーン整備事業を再検討する9年度までは人員を仮庁舎に一時配置すべきである。

新松戸駅東側地区土地区画整理事業の中心である立体換地建築物について、事業計画案で示している販売額169億円のうち住宅部分と商業部分の内訳、保留床のコストに対する市の考えなどを質問したが、明快な答弁はなかった。市は赤字販売打開のため取得事業者と協議を重ねていくとしているが、保留床のコストについては協議に支障を来すため提示で

きないとの答弁であった。建設費の高騰により全体コストは上がっていると想定され、こうしたコスト上昇を第三者の目から見て明らかにしよう、まずは議会に提示し、これに対する意見を踏まえ、取得価格の引き上げに向けた協議に臨むべきと考える。時間を要するほど対応策は限られていくことから、何も示されないまま事業を承認し進めるのではなく、例えばスケルトンでの販売、市は土地を提供し建設主体は保留床取得事業者に変更、建設費縮減のための減築といった事業の変更を求め、反対する。

日本共産党

令和8年度一般会計、国民健康保険、競輪、介護保険、後期高齢者医療、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業、相模台地区土地区画整理事業特別会計、水道事業会計に反対し、その他特別会計および各企業会計に賛成する。

平和事業では、平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐ活動とともに、現に目の前で起きている戦争や、日本が経済的・軍事的にも巻き込まれかねない戦争にも声を上げるべきである。現在起きている平和を脅かす事態にも、機動的かつ柔軟に対応できる平和事業の実施を求める。

歳入では、使用料・手数料の上昇等、財政の負担軽減は、市民負担の増額と同義であり、分かりやすい内容ではない。全ての会計審査を通し、莫大な市民負担の増額が明らかとなった。

一般会計では、使用料・手数料の最適化で8・4億円の増額となり、国民健康保険特別会計への一般会計繰出金の縮小や予防接種の値上げ等が含まれ、合計で14・1億円の市民負担の増額となる。

物価高騰や医療等の困難は、国策によりもたらされており、国に賃上げと社会保障責任を果たさせることが第一である。全ての大型事業の実施を前提とした財政運営の基本方針を見直し「大型事業ありきから暮らし最優先の市政」への転換を強く求め、新年度予算案に反対する。

委員会の審査から

2月20日・24日・3月5日・9日・10日・11日・24日に各委員会を開催し、提出された議案について審査しました。ここではその審査の中で一部の質疑・答弁（要点）を掲載します。（審議結果は2面に掲載）

※なお3月11日に開催した庁舎整備に関する特別委員会では、議案等の審査がありませんでした。

総務財務 常任委員会

議案第59号 令和7年度松戸市一般会計補正予算（第12回）

問 高等学校野球全国大会出場関係事業について、専修大学松戸高等学校の3年ぶり3度目となる春の甲子園出場が決まったが、大会出場支援に対する財源の考え方について見解を伺う。
答 一般財源ではなく松戸市スポーツ振興基金とし、松戸市高等学校野球全国大会出場補助金交付要綱に基づき、シティブロモーションの推進と、子どもたちへの応援という、両面の観点から対応させていただいた

いと考えている。
議案第104号 松戸市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

問 本市における感震ブレイカーの普及率を把握しているか伺う。
答 消防局では、市内の感震ブレイカーの設置状況を把握していないが、感震ブレイカーは、大規模地震発生後に、停電状態から電気が復旧し、通電する際に発生する火災、いわゆる通電火災を防止することに、効果があつたものと認識している。防災につながる情報として、関係課とも協議をしながら、市民へ広報をするとともに、普及促進をしていく。

教育環境 常任委員会

議案第91号 松戸市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 文化会館や市民劇場等の施設が教育委員会から市長部局へ移管されることにより、利用手続きや制度の変更があるか。また利用者への影響の有無を伺う。
答 所管の変更により、施設の利用手続きや社会教育関係団体に対する減免等の制度変更はないことから利用者への影響はないものと認識している。

を改正する条例の制定について
問 いじめへの迅速な対応の工夫や取り組みを伺う。

答 学校現場では、積極的にいじめを認知し、各校のいじめ防止基本方針に従い迅速に対応している。また児童生徒の発達段階に応じた指導強化教材として、松戸市版「豊かな人間関係づくりプログラム」をいじめ防止プログラム編として活用し、未然防止の取り組みを行っている。いじめが理由で3日間欠席した児童生徒がいた場合、学校から教育委員会へ事案報告書を提出してもらい、学校に現在の状況を確認の上、助言等の対応を行っている。

健康福祉 常任委員会

議案第63号 令和7年度松戸市介護保険特別会計補正予算（第2回）

問 介護給付費等準備基金積立金の増額は、剰余金によるものとのことだが、剰余金が生じた理由を伺う。
答 歳入の介護保険保険者努力支援交付金が774万3000円の増額となり、地域支援事業費の財源更正を行ったことで生じた一般財源のうち、償還金200万円を除いた、残額574万3000円を介護給付費等準備基金に積み立てるものである。

児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

問 本事業を通じて、保護者にどのようなサービスを提供したいか伺う。
答 本事業は全ての子どもへの育ちを応援し、良質な生育環境を整えることを目的としている。単なる一時的な利用にとどまらず、保護者の育児負担の軽減や孤立防止につながることも、支援を必要とする可能性のある家庭を早期に把握し、問題の深刻化を未然に防ぐ役割も果たしていきたい。多くの方に本制度を利用していただけるよう、広報活動や関係機関との連携を強化していく。

建設経済 常任委員会

議案第61号 令和7年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算（第1回）

問 競輪事業収入における勝者投票券売上金について、67億円の増額補正となるが、令和7年度の収益見込みを伺う。
答 売上に対する収益の割合は0・6%、民間ポータルサイトでの売上は最大3%としており、これが市の売上総利益となる。この売上総利益から、市が負担すべき開催経費を控除した金額が純利益となるが、現在は各種開催経費の精算前であり、純利益は算出でき

ない。なお増額補正後は売上金が400億円となり、売上総利益としては8億円程度を見込んでいる。

問 本条例改正の目的は。
答 食品等の持続的な供給体制を確保するため、取引の透明性と合理性を高めることを目的としている。特に、生産コストが分かりにくい食品について、国が示す指定飲食物品等とそのコスト指標、取引上の努力義務に関する措置を公表することで、取引当事者間の理解を促進し、適正な価格形成につながることにあ

一般質問

3月2日・3日・4日にわたり、市長・教育長の施政方針等の内容を中心に市政に関する一般質問を行い、5会派が代表質問を、会派に属さない議員6人が個人質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をお知らせします。代表質問は、会派の構成人数により決まる発言時間に応じた紙面配分で掲載しています。

公明党
岩瀬 いわせ
麻理 むら

核なき世界について

問 本年開催される核兵器不拡散条約および核兵器禁止条約の再検討会議に向け、平和首長会議のメンバーとして、市の取り組みを伺う。

答 核軍縮を巡る国際情勢は大きな転換点にあり、核兵器のない世界の実現は極めて重要な課題であると認識している。平和首長会議が日本政府へ発出した要請の趣旨を受け止め、市民の理解と共感を広げることが自治体の役割だと認識している。本市の取り組みとして平和大使長崎派遣事業のほか、平和の集いの開催等、平和事業を着実に推進し平和意識の醸成を図っていく。

松戸駅周辺まちづくりと市役所新庁舎整備について

問 新庁舎の建て替え場所の検討に際し、現地建て替え時の新拠点ゾーン整備の方針を示した上で比較検討を行うべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答 仮に新庁舎の建て替え場所が現地となった場合においても、新拠点ゾーンの有地は計画的なまちづくりが実現できるよう取り組んでいく。市役所本庁舎は、市民の暮らしを支える役割を果たすとともに災害時には復旧・復興支援等の役割を担う施設である。そのため市役所本庁舎の建て替えについて、市民の理解を得ながら早期に進めたいと考えている。

「女性活躍・男女共同参画の重点方針2025」について

問 令和8年度以降の本市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画について、現時点での考えは
② 女性の経済的自立・就労支援について現状の取り組みと展望を伺う。

答 ①次期特定事業主行動計画は8年度から12年度までとし、管理的地位にある職員に占める女性の割合を30%以上とする目標を掲げる等、女性職員が能力を発揮できるよう検討している。目標達成に向け、地方公務員女性幹部養成支援プログラムへの派遣等を推進し、キャリア形成の意識醸成等を図り、管理的地位にある女性職員の人材確保に努めていく②女性の経済的自立・就労支援では女性就労・両立支援相談を実施し、夜間相談やオンライン相談等も設けている。また再就労のきっかけとなる講座等をオンデマンド配信も活用し実施している。今後は松戸市男女共同参画プラン第6次実施計画が9年度までであり、8年度には次期実施計画策定に向けた市民意識調査等をはじめ、国や県の動向を注視しつつ、関係部署との連携を図り推進していく。

公明党
丹呉 顕子

障がい者福祉について

問 18歳以上で障害がある人の家族の85・5%が親亡き後の将来に不安があると回答している。支援拠点の増設といったハード面の整備や体制の拡充等の体制強化が重要と考えるが、親亡き後の支援の充実について、市の見解を伺う。

答 日中サービス支援型グループホームの整備は、まつど3つのあいプランの課題として記載している。本市は供給体制が構築しやすい環境にあり、在宅の重度障害者対象の調査結果等を踏まえ、新たな利用希望にも対応可能な施設数の確保を見込んでいる。一方で障害福祉サービス利用には個別のマッチングが必要であり、親亡き後の将来に不安がある方がいることは認識している。引き続き相談支援専門員等と連携し不安軽減に努め、誰もがいきいきと地域で安心して暮らし続けられる体制整備を進めていく。

清風まつど
市川 恵一

財政運営の基本方針を踏まえた公共施設と学校施設の整備について

問 現状の認識と今後の方向性を伺う。

答 長寿命化工事の1校目として進めてきた小金北小学校は、資材費等の高騰で事業費が当初の想定を上回る状況により、令和8年度当初予算の関連事業の予算化を見送ったところである。1校のみの長寿命化工事ありきではなく、地域全体の公共施設等の在り方を見据え、政策を再検討すべき局面にあると認識している。この状況を踏まえ小金北小学校については、実現に向けた整備手法や将来世代に及ぶ財政負担等選択肢を整理し、早急に方向性を再検証していきたい。

未来への投資について

問 北小金駅周辺地区まちづくりについて、南口東地区の進捗、および北口側の開発の今後の進め方を伺う。

答 南口は既存建築物等の解体除却工事がおおむね完了し、令和8年4月の本体工事着工に向け準備が進んでいる。一方で資材価格等の高騰で事業計画変更の認可申請が予定され、事業費は現行の約1・3倍に増加すると聞いており、市として補助金を交付し事業完遂に向け組合を支援していきたい。北口は「(仮称)北小金駅北口のまちづくりを考える会」の発起人会の市街地再開発事業を念頭に置いた検討を事務局として支援している。今後は「まちづくりを考える会」の組織化の予定に伴い、駅前広場等の公共施設計画を進め、地元地権者組織の活動支援等を8年度に予算化し検討を進める。

受益と負担のあり方に対する考え方と財政改革について

問 サービス受給に対する負担の考え

方と財政改革の見解と実現方法を伺う。

答 受益と負担の在り方について、令和8年度中に「受益者負担の適正化方針」を策定し、全庁的な統一基準で算定できる整備をしていく。本方針に基づき民間や近隣他市との均衡や市民間の公平性も考慮し、適正な料金設定を進める。財政改革については、各事業の目的や効果、費用対効果等を客観的に検証し、役目を終えた事業や効果の薄れた事業等を統合・縮小・廃止を含め、効率化を進めていく。8年度に「未来を見据えた財政戦略会議」を立ち上げ財政の健全性と未来への投資の両立に向けて取り組んでいく。

清風まつど
大橋 博

仮庁舎について

問 ①賃借面積の確定状況②職員の執務スペースの確保状況③各部署配置案④市民への周知について伺う。

答 ①令和7年12月定例会の補正予算提案時に説明した床面積で確定し、仮庁舎の賃借面積を必要最小限とし部署配置を考えている②通常執務を行う上で必要十分なスペースは確保できていると認識している③来庁者が多く相互利用が多い市民窓口部門を松戸ビルディング商業棟に集約している。代表的なものとして同ビル5階には市民課、国保年金課、税部門を、10階には子ども部、福祉長寿部を配置予定である④広報まつど定例号や特集号、市の広報媒体を活用し、8年秋頃を目途に複数回の周知を行う予定である。

新庁舎整備について

問 比較検討結果に対して聴取した意見の扱いについて本市の考えを伺う。

答 市民や有識者より頂いた意見を参考に市の考えを作成、最終的に市議会と協議の上、建て替え場所を決定していく。

松戸志政会
広瀬 優斗

財政政策について

問 市民の利便性向上に直結する事業等については、実質単年度収支の黒字化に固執せず積極的な起債による先行投資を行うべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 令和7年8月に策定した「松戸市財政運営の基本方針」において、8年度からの3か年計画で実質単年度収支の黒字化を最優先に進めることとしている。当該計画の範囲内で必要な大型事業については、国・県の補助金や起債等の財源を最大限活用し計画的に実施したいと考えている。今後も将来を見据えた必要な投資は、決して止めることがないよう「未来への投資と財政改革の両立」を基本姿勢とし責任ある財政運営に努めていく。

北千葉道路周辺について

問 東松戸駅を中心とした東部地区のまちづくりの進め方について伺う。

答 本市の将来を見据える上で、東松戸駅周辺のまちづくりは極めて重要であり、駅周辺に商業機能、娯楽施設等、都市機能の集積を図っていききたい。加えて北千葉道路の開通を好機と捉え、地権者の意向把握等を含め基礎調査を実施したい。今後は関係機関と緊密に連携し、東部地区の価値を最大化する官民連携のまちづくりに取り組んでいく。

婦人科検診の充実について

問 本市で行っている子宮頸がん検診では子宮体がん・卵巣がんは発見することができないため、エコー検査を併用した婦人科がん検診が必要になると考えるが、導入について市の見解を伺う。

答 経膈エコー検査については、子宮

体がん・卵巣がん・子宮内膜症・子宮筋腫等の疾患の発見につながる検査であることは認識している。そのため、不正出血等の症状がある場合は、エコー検査を早期に受診することの重要性を周知し、医療機関への診療につながるよう啓発したいと考えている。また、エコー検査を併用した婦人科がん検診については、今後、医師会等の関係機関と協議し、女性の健康を守る取り組みを進めていく。

外国人政策について

問 本市が県内でも上位の外国人増加が進んでいる状況の中で、現状をどう捉えているか、市の考えを伺う。

答 外国籍市民の増加に伴い、市民から不安や相談等が寄せられている現状は強く認識している。対策については、本市の喫緊の課題として捉え、関係部門の垣根を越えて解決に取り組んでいる。一方で外国人の受け入れは、基本的には国が政策判断する責務と認識している。本市としても、国の方向性に基づき、地域社会の構成員として共に安全・安心に暮らすことができるよう取り組んでいく。

政策実現フォーラム・社民DELLI

未来を見据えた財政戦略会議について

問 どのようなメンバーで構成されるのか。また会議は公開するのか。

答 財政戦略会議は令和8年度予算編成における市長ヒアリングを踏まえ、本市の課題を継続的に分析・検討し、予算編成のみならず政策判断全般に反映させることを目的としている。出席者は市長、副市長、各事業の担当部署および財政部門の職員を想定している。庁内検討・調整の場であるため、公開は予定していないが、検討状況や結果は必要に応じて予算案に反映させる等、適切に示していく。

市立総合医療センターについて

問 本市の財政状況を踏まえ、今後の建て替え等を見据えるとして将来像からバックキャストイングした抜本的改革が必要と考えるが、中長期的なビジョンを伺う。

答 現在策定中の第4次経営計画では、令和8年度から11年度までの期間において、収支構造の健全化を目指している。中長期的ビジョンの必要性は認識しているが、診療報酬制度の動向等の外的要因が流動的であり、10年以上先を見通すことは困難である。診療機能の縮小・廃止による効果は医師の人員費削減のみで、病院全体の経費削減にはつながりにくい。ため、本計画期間内では想定していない。今後は9年度からの新たな地域医療構想で求められる2040年を見据えた次期計画の中で、将来像からのバックキャストイングの視点も含めて検討していく。

商業振興について

問 本市が企業に選ばれるまちを目指す上で、どのような指標に基づき、取り組みの効果やその評価を行うのか伺う。

答 企業誘致に係る補助制度の見直し等を通じ、近隣他市との差別化を図り、「選ばれるまち」の実現を目指している。近隣他市との比較については、人口規模や立地環境等が異なるため、単純な比較が困難であると認識している。まずは有望企業の新規立地件数や既存企業の再投資件数を、取り組みや効果を計る上での指標とするとともに、誘致企業がもたらす税収効果等の検証も必要と考えている。

日本共産党

嶋村 新一

新松戸駅東側地区土地画整理事業について

問 市庁舎建て替え問題では市民聞き

取り調査等を実施したが、それらと比較して本事業での市民への情報公開や説明会の在り方をどう考えているのか伺う。

答 市民への情報公開は市として重要であると認識しており、広く事業説明を行うため令和7年12月20日に市民説明会を開催した。説明会は本事業に対する市民の意見・要望を直接伺う貴重な機会になったと受け止めており、開催結果はホームページで公開している。今後も情報発信に努め、事業の推進を図っていく。

公契約条例制定の推進について

問 国は第三次・担い手3法施行に伴い労務費に関する基準を示したが、公契約条例制定の推進について考えを伺う。

答 適正な労務費の確保策として、建設業者が公共工事の入札時に提出する入札金額内訳書に労務費や法定福利費等を記載しなければならなくなり、本市では令和7年12月に関係要領を改正し、事業者へ周知した。他にも発注者による調査制度等が定められたが、導入には詳細な制度設計等が必要であるため、国等の情報や他市の状況を注視し、導入に向けた検討を進めていく。公契約条例の導入は、新たな取り組みの効果や課題を踏まえた上で、検討を重ねる必要があると考えている。

若者への住宅政策について

問 令和8年2月に労働者福祉中央協議会が「若者の住まいの実態調査」の結果を公表し、単身1人暮らしでは住宅関係費を「かなり負担」と答えた人が3人に1人だった。本市の住居補助政策は若年層の転入実態に沿っているか若年層への住宅負担支援の必要性について伺う。

答 本市の若者への住宅政策は、三世代同居等住宅支援業務、結婚新生活住宅支援業務および市営住宅関連業務がある。若者単身世帯に特化した住宅負担支援施策はないが、三つの施策を活用し、引き続き若年層への住宅支援に努めていく。

無所属

鷹野 聡

松戸市病院事業の経営再建策について

問 市長は病院事業の経営再建策を策定したが、このまま策定された再建策のとおりに進めるのか、それとも市長として何らかの判断を下すのか伺う。

答 再建策を確実にするため、権限と責任、その評価に至るまでを明確化した効率的な仕組みや実施体制の確立が必要だと認識している。計画の実行に当たり、KPIを設定し進捗管理を徹底することで行う。現時点では、政策医療の維持において地方公営企業法全部適用の経営が現実的かつ適切だと考えている。社会情勢等も踏まえ市民にとって最適な経営形態を見極める必要があると認識している。

無所属

鳴原 舞

松戸市多文化共生のまち推進指針等について

問 多文化共生に関する指針や外国人支援施策の中で、日本文化の尊重や地域社会の慣習・規範の理解等の観点から十分に明確化されていないのであれば、今後位置付ける必要があると考える。松戸市多文化共生のまち推進指針等の見直しの際、地域社会への適応・社会統合の観点を明文化する考えはあるか伺う。

答 令和4年度に策定した松戸市多文化共生のまち推進指針について、時期は未定だが今後の見直しに当たって、国の示す「外国人の受入れ・秩序ある共生のための総合的対応策」等、社会環境の変化を踏まえて検討を進めていきたい。

無所属

戸張 友子

松戸の魅力向上について

問 最新の観光・イベント情報を手取りできる観光案内所が駅構内にあると快適に目的地に向かうことができ、にぎわいの創出につながると考える。松戸市観光協会と連携して、松戸駅構内に観光案内所を設置することについて考えを伺う。

答 駅構内における本市の観光情報の発信は、観光振興への効果的な手段であると認識している。現在、松戸駅はJR東日本と京成電鉄が改良工事を行っていることから、観光案内所を含むスペースの公的な活用の可能性について、JR東日本などから情報収集を図るとともに、松戸市観光協会と協議しながら、さまざまな可能性の検討を進めていきたい。

無所属

柿沼 光利

文化スポーツについて

問 古ヶ崎河川敷スポーツ広場の維持管理について、現状の取り組み内容と令和8年度から拡充する点を伺う。

答 古ヶ崎河川敷スポーツ広場は、天然芝の広場に野球場等を備え、予約制により、無料で利用できる無人施設である。管理は週2回のトイレ清掃とごみ回収、月1回の草刈り等の実施、整地は利用者にお願ひし、定期利用団体に草刈りのご協力をいただいている。令和8年度は維持管理を強化し、草刈りを9回から21回へ拡充し、利用環境の改善を図る。併せて芝の養生方法を検討し利用しやすい環境づく



無所属

湯浅 文

松戸市立総合医療センターの労働環境について

問 ①勤務間インターバルの実施状況 ②面接実施率未達成および周知方法についての見解 ③宿日直許可の状況を伺う。

答 ①勤務管理システムにより勤務間インターバルを管理し、確保できない場合は翌月末までに代償休息を取得することが可能である②一部の医師において多忙で日程調整が困難なため、時間外・休日労働が100時間前に面接を実施できていない。所属長および対象職員に面接の義務を改めて周知し、期間内の実施が徹底されるよう取り組んでいく③麻酔科や外科系で取得している。宿日直勤務後に緊急対応等で業務が発生した場合は、別日に休息時間を確保している。

無所属

二階堂 剛

病院事業について

問 松戸市病院事業第3次経営計画の策定時から物価高騰は始まっていたが、その動向を踏まえた計画案が作成できなかった経営陣の責任について伺う。

答 第3次経営計画は、東松戸病院閉院に伴う一時的な人員費増加を見込んだ上で、病床の増床等による収益を見込み経営改善を実現する計画だった。しかし建設費高騰による別棟建設の延期等、急激な社会情勢の変化により危機的な決算状況となった。社会経済状況の変化等を十分想定できず、計画の見通しが甘かった責任はあるものと深く反省し、第4次経営計画では、組織全体で実現性、実効性を担保できるようにしていく。

松戸市議会表彰

この表彰は、スポーツ・学術・文化・社会活動等で、特に功績のあった個人・団体に對し、松戸市議会が表彰を行い、その功勞に報いるとともに市民の郷土愛を育むことを目的としています。

2月27日に、令和7年度松戸市議会表彰を本会議場で執り行いました。

個人表彰

- 菅野 綾生** (市立馬橋小学校) 一列右から一番目
第67回小学生中学生全国空手道選手権大会 個人戦 小学3年生男子 形の部 優勝
- 河野 泰成** (市立梨香台小学校) 一列右から二番目
第42回全国少年少女レスリング選手権大会 男子の部 5年生 55kg級 優勝
- 山田 比歩未** (光英VERITAS中学校) 一列右から三番目
第48回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 14-15歳 高飛込 第1位
- 山崎 結香** (市立第五中学校) 一列右から四番目
第16回ボールペン字大賞 自由文コース 小中学生の部 文部科学大臣賞
- 松本 真緒** (県立松戸六実高等学校) 一列右から一番目
第59回弘法大師奉賛 高野山読書大会 学生の部 弘法大師賞
- 丹 千遙** (市立小金南中学校) ※当日の写真掲載はありません。
第52回全日本中学校陸上競技選手権大会 女子 砲丸投 第1位

団体表彰

- 市立第二中学校 吹奏楽部**
代表 太田 奏 二列右から二番目
第31回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学生A部門 最優秀賞
- 市立第三中学校 吹奏楽部**
代表 柴田 映実 二列右から三番目
第31回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学生A部門 最優秀賞
- 市立第四中学校 吹奏楽部**
代表 内田 愛弓 三列右から一番目
第31回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学生A部門 最優秀賞
- 市立松戸高等学校 吹奏楽部**
代表 三代 知采 三列右から二番目
第14回日本学校合奏コンクール2025 全国大会グランドコンテスト 高校生の部 最優秀賞
- 専修大学松戸高等学校 合唱部**
代表 永田 彩華 三列右から三番目
代表 辻 龍河 三列右から四番目
第92回NHK全国学校音楽コンクール 全国コンクール 高等学校の部 金賞
- 市立小金中学校 吹奏楽部**
※当日の写真掲載はありません。
第73回全日本吹奏楽コンクール 中学生の部 金賞
- 市立小金南中学校 吹奏楽部**
※当日の写真掲載はありません。
第25回東日本吹奏楽大会 中学生部門 金賞
- 県立小金高等学校 吹奏楽部**
※当日の写真掲載はありません。
第14回日本学校合奏コンクール2025 全国大会グランドコンテスト 高校生の部 最優秀賞



受賞者の皆さんと茨谷剛士議長

- 受賞者の皆さんと茨谷剛士議長

会派別一覧

会派構成に変更がありました。松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

公明党 10人 ◎飯高 芦丹 井鈴 岩松 伊織 ○箸橋 田呉 出木 瀬尾 東原 明之春 子子 明理 尚一 幸 公伸 満 顕 昌 智 麻 英 正	清風まつど 10人 ◎市大 川 恵 一 ○大田 橋 睦 博 生 石和 塚 山 太 裕 郎 大岡 本 村 谷 子 士 中 中 村 谷 子 祥 渋 杉 山 松 裕 人 杉 末 裕 人	松戸志政会 7人 ◎石西 井 勇 ○西大 田 昭 広 大 善 大 大 優 大 大 健 鈴 大 健 深 大 能
政策実現フォーラム・社民 5人 ◎増田 薫 ○原竹 裕 二 D E 幸 枝 工 藤 鈴 子	日本共産党 4人 ◎ミール 計 恵 ○宇津野 史 行 嶋村 新 一 山 口 正 子	無所属 湯 浅 文
議員数合計 42人 (令和8年2月9日現在) ◎幹事長 ○副幹事長 ※新たな幹事長・副幹事長	無所属 嶋 原 舞	無所属 柿 沼 光 利
	無所属 鷹 野 聡	無所属 戸 張 友 子
		無所属 二階堂 剛

6月定例会の開催予定

令和8年松戸市議会6月定例会は、6月10日(水)から6月26日(金)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。請願は、6月1日(月)正午が提出期限です。

日程	主な内容
6月10日(水)	招集日・本会議(議案提案理由説明)
11日(木)	本会議(一般質問)
12日(金)	本会議(一般質問)
15日(月)	本会議(一般質問)
16日(火)	本会議(一般質問)
17日(水)	本会議(一般質問・議案質疑)
19日(金)	総務財務常任委員会
22日(月)	健康福祉常任委員会
23日(火)	教育環境常任委員会
24日(水)	建設経済常任委員会
26日(金)	本会議(議案の採決等)

※このほか随時、委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

議会傍聴について

傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

議会運営委員会

委員の変更がありました。

- ◎石井 勇 幸 郎
- 織原 正 太
- 大和田 山 正 太
- 増田 瀬 善
- 岩瀬 田 善
- 西野 橋 善
- 大津 野 史 公 恵
- 宇野 野 史 公 恵
- 飯市 箸 川 明 一

◎委員長 ○副委員長
※変更があった委員
(令和8年2月9日現在)

編集の窓

令和8年3月定例会は、松戸隆政市長にとって初となる当初予算案をはじめ、上程された全ての議案が可決され、閉会いたしました。

さて、3月28日・29日には、晴天と満開の桜のもと、市内4カ所で桜まつりが開催され、多くの市民の皆さまの笑顔で溢れる盛会となりました。肌寒い季節はあつという間に過ぎ去り、早くも酷暑の足音が近づいています。

こうした中、市内全ての小中学校体育館で空調設備の設置が完了し、子どもたちの学びの場における熱中症対策が大きく前進しました。令和8年度も市政のさらなる発展と市民生活の向上を目指し、議会一丸となってまい進してまいります。

次回発行予定は8月1日(土)です

松戸市議会の情報をホームページで公開しています

本会議の様子は「インターネット議会中継」でご覧いただけます。



松戸市議会

議会中継

マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」からも、議会だよりの最新号をご覧いただけます。